

公民館だより

第72号
令和2年3月
上宮津
地区公民館

令和元年度に思う

上宮津地区公民館 館長 智原芳明

今年度も余すところ少なくなってきました。五月には「平成」に変わって「令和」に引き継がれました。

「令和」は新元号で二四八番目となり、その由来は梅の花をたたえる『万葉集』によるといわれ、一人ひとりの心を梅に見立て、花のように美しく咲くという意味が込められています。多様な花が咲き乱れ新たな文化が生まれることを願う言葉だということです。今や人生は百歳といわれるほど長寿の時代となりました。食糧事情が良くなり医療の進歩によるところが大きいと思

われませんが誰もが容易く超えられるというわけにはいきません。現在のところ上宮津では百歳代が一人、大正生まれで九十歳代の人を合せると十数名ご健在です。文字どおり大正、昭和、平成、令和の四つの時代を過ごしてこられたことになりました。

「降る雪や明治は遠くなり
にけり」と過ぎ去った明治の時代に思いを馳せて作られた昭和の句ですが、少し前まではよく耳にしましたが今では聞くことが無くなってしまいました。新しく令和に入った現在、もし過去を振り返るな

らば、「・・・昭和は遠くなり
にけり」となってしまふのではと昭和生れの自分に勝手な解釈をつけて複雑な思いをしているところでは。

「十年ひと昔」これも時代の移り変わりを表す言葉ですが、世の中の変わり具合が年早く感じ、現在では五年とも三年ともいう速さで変わって行くようだというものです。

世の中は足早に変化して今までの生活の多くを変えてしまいました。人々の趣向においても大衆的であったものから個性豊かなものへと移り変わりました。そしてこの傾向を引き継ぎ更なる文化の展開へと期待して新しく始まった「令和」であります。

多様性を尊重してお互いの人権を認め合うグローバルな共生時代の到来が期待されてスタートをしました。

しかし、新年度も終盤に差し掛かり、来るべきオリンピック・パラリンピックに向

けて世界の人を迎え入れようとしていた最中に思いもよらない事態となりました。

新型コロナウイルスによる集団感染症です。感染者はまたたく間に地球規模で拡散し、見えぬウイルスで大混乱となつていきます。各国とも感染の拡散防止に向けて出入国や特定の地域を封鎖するなど抑え込みを図っていますが、拡大の一端で今のところ終息の目途は立っていません。

我が国においては各種スポーツ大会をはじめ、教育文化、芸能、政治経済に大きく影響が出はじめています。

公民館活動におきましても三月からの自粛措置で会議や行事が延期や中止となりました。各種団体様には今回の対応の趣旨にご理解いただき、公民館使用を苦渋の思いで断念していただいた事にお礼を申し上げます。

安心のできる日が一日も早く来ることを願うところです。

「さんだわら 棧俵作り」活動について

上宮津自治連合会

副会長 粉川宗久

「上宮津六自治会の皆様には地域活動を通して大変お世話になっていきます。公民館から良い機会をいただきましたので、今回は地域活動の中で「棧俵づくり」について報告します

一 「棧俵づくり」活動の

取組みについて

八月一六日の宮津灯ろう流し花火大会で棧俵は、灯ろうを載せて海に流されます。

大切な伝統行事に使う材料づくりについて宮津市から要請があり上宮津地域会議では、伝統行事の一役を受けることとしました

以下の①②③を指して取組んでいます。

①旧上宮津小学校の利用です。一月中旬から三月末までの間、貴重な作業スペースと

して旧職員室等を有効に活用させていただきます。

②実益を兼ねた健康作りです。稲わらの手触りはとても気持ちの良いものです。両手の指先全部を動かして作業に集中します。一日の作業が終わると疲れますが、やり遂げた達成感があります。個々のペースに合わせて進めています。また、お家に持ち帰り作業に協力されている方もあります。出来上がった棧俵は宮津市に買い取ってもらいます。作業時間に比べて低額ではありますが、作業手当をお配りしています。

③地域内外の交流です。地域の子供達が、春休み期間に作業現場を覗いてくれます。地区外の交流では昨年、上宮津地域会議主催の「地域の魅

力発信ツアー」を行いました。行程の一部として棧俵体験を行い、地域外の参加者に二時間ほど楽しんで頂きました。もちろん、講師はこの作業経験者に務めて頂きました。

二 作業の近況について

○今期も昨年と同様に、一千個の棧俵づくりを目指しています。十余名の協力者があり皆で頑張っています。

○稲藁は、小香河地区と、今福地区の有志から提供していただきました。餅米の藁が強く編みやすいため、昨年度から通常の稲藁から変更して使用しています。

○千歯扱き、押切り等なつかしい道具を使用して作業しています。

○三月末までは毎週、火・木・土曜日の九時～十六時まで作業を行いますので、機会がありましたらご参加願います。



上宮津歩き

古心の薬師さんを訪ねて

3月7日、早春の上宮津、古心(ふるこころ)薬師講の祭りを訪ねて行きました。いつものこの時期は日陰の所どころ雪が残っており、春のおとずれが里よりも少し遅く感じるものですが、今年は暖冬で雪が少なく小春日和とあって車で行くのをやめて歩いて行くことにしました。



NHKの『麒麟がくる』の主人公公明智光秀の首塚がある盛林寺を越え、丹後鉄道沿いに

上って行くと京都縦貫自動車道のガードに差し掛かります。そこを通り抜けると杉山が目前に迫って見えます。山間を流れ出た清流を覆うように赤い花をつけた山椿と山つつじが咲いていました。傾斜が急になったところに差し掛かると美しく刈り整えられた棚田の畦が見えてきます。5月のゴールデンウィークの準備で田植えが近いことを伝えられているようです。



やがて道路の中央に民家が見え、村の入り口近くには今日の祭りを知らせるのぼり旗が風になびいていました。



立ち上る焚火の煙に導かれて手すりのある急な階段を登りきった所に生え茂った樹木の間ががちりとした造りのお社がありました。祭りは、古心の伝統として現在住んでいる方と、以前に住んでいた人達の手によって脈々と引き継がれています。しかし、離村された方の世代交代もあり、後継者不足を心配されている様子でした。

この社の自慢は屋根の鬼瓦にあるとの事、なんでも鬼の目がくり抜いてある珍しいものでした。全ての事が見抜けるお見通しの目なのではないか。お札と湯茶の接待を受けて帰りました。帰り道は下り坂から宮津湾方面を望むのもいいものです。高道路路越しに市街や海が見える素晴らしい景色です。皆様も晴れた日に一度お越しになつてはいかがでしょうか。



新世代に向けた公民館活動

社会教育法が制定されてから今年度でちょうど70年が経ちます。日本で公民館が全国的に普及したのは戦後になってからであり、荒廃と混迷した世の中を民主的で文化的な社会に変えることを目的として社会教育法の制定に基づいて設立されました。

上宮津地区でも小学校と公民館ができ新しい学校教育と社会教育が地域に広められました。青年会、婦人会、生活改善グループなどが相次いで結成されて活動されていたようです。当時公民館で結婚式を挙げられたカップルがあり、その時に使われていた挙式の7つ道具が今も押入れの片隅に置かれています。料理、生活習慣、踊り等は後の地域文化の向上に、またスポーツでは

地区対抗駅伝や綱引きなどで良い成績が残されています。

そして年月が流れて、今年は新しく『令和』となりました。その間に私たちの暮らしは大きく変化をして便利で豊かになり、行政機能も充実をしてきました。特に情報通信の発達はめざましく、家庭や職場に居ながらにして情報交換やコミュニケーションができるまでになりました。また流通の発達は、衣、食、住のすべての様式を普及から選択の時代へと変えてしまいました。このように時代の流れが公民館を取り巻く環境をも一変させたことで、公民館設立当初の『集い』の場としての目的機能が薄らいできたのが現状です。このような社会や地域の変化に対して最も影響を受けや

すい環境の公民館であることから近年では全国的に館数が徐々に減少傾向にあります。

人口減少の進む宮津市では公共施設と人口比率等の地域事情をふまえた適正配置が提起されているところです。過疎化地域と公民館の存在意義を考えることは、今や対岸の火事ではないところまで来ています。

上宮津地区公民館の利用に關しましては、各団体様の活動の拠点として日々ご利用いただいています。各団体様の積極的な活動は、近隣の地域から見ても類のないものとして注目され、高い評価を受けておられるところです。地域の活性化や産業振興が公民館の活用と連動して、ともに伸びていくことに喜びを感じているところです。

そのほか、来年度から宮津市では『宮津学院』という名称で小学校と中学校が一体となる小中一貫教育が始まります。

それに加えて学校と地域が連携して行う「ふるさと宮津学」や「コミュニティ・スクール制」が導入される予定です。上宮津では自然の中で農業体験や大江山・杉山で学んでもらい、素晴らしさを感じ取ってもらいたいと思います。

また、大学生のフィールドワーク支援を地元の上宮津地域会議や上宮津21夢会議と協調して行い、公民館を研修の拠点として更に利用してもらえればと思うところです。

住民の求めているものと社会教育の目指すチャンネルをいかに一致させるかは多様性社会の実現に向けた公民館に科せられた課題です。

「なるほど」「なんで」「そうか」と人が向き合って『集まる』『話す』『繋ぐ』は公民館設立当初からの普遍的な精神です。今後も地域のコミュニティの場として歩みを止めてはならないと思います。

公民館後期 事業報告

交通安全教室

7月16日(火) 29名



上宮津で生活するうえで欠かせない移動手段は自動車です。ドライバーとしてより安全に運転していただくことを目的に、宮津警察署より講師を招き講演会を行いました。パネルを使って認知や反応など運転に欠かせない事柄についての話をいただき、また婦警さんは腹話術で人形のケンちゃんを使って、おじいさんの運転する車に乗った時の怖かった体験を演じてもらいました。高齢者の運転に欠かせないポイントを教えていただきました。

夜間防犯パトロール

7月20日(土) 8月31日(土)
12月20日(金) 延べ56名

実施内容

日時	第1回 7月20日(土)午後7時30分～ 第2回 8月31日(土)午後7時30分～
集合場所	上宮津地区公民館
実施地域	上宮津地域内を二手に分かれて巡回します
実施方法	宮津警察署および下記の団体の協力を得ておこないます。
実施手段	自動車に分乗して地域内を巡回する

今年夏休みと冬休みに合わせて3回実施しました。上宮津地区青少年健全育成懇談会の皆さまと、宮津警察署の協力を得て行いました。上宮津自治連合会、保育所、学校など、日ごろから地域の福祉、防犯などで子どもたちと関わっていただいている方々を中心となり、健全な日常生活が送れるよう支援をいただいています。ともすれば休みの期間中は生活リズムが乱れやすい時期であることから、家庭と地域が一体となって犯罪や非行が起きないよう未然に防止をするよう訴えました。青色パトローカーを先頭にして地域内を巡回しました。

公民館大掃除

7月28日(日) 34名



昨年は台風で中止しましたが、今年絶好の大掃除日和となりました。公民館運営審議会委員と日頃から公民館を利用されている団体さまを中心に参加いただきました。熱い最中でありましたが、多くの方に参加していただき高い所や庭木の剪定など普段は行き届かない隅々まで美しくしていただきました。これからも気持ち良く利用していただけます。

夏休み宿題広場

8月1日(木)から
4日(日) 45人



上宮津地区の小学校1年生から6年生対象に上宮津地区公民館で行いました。昨年までは一日だけでしたが、保護者の要望が強く、今年は4日間に拡大しました。子どもたちの参加は1日目7人、2日目9人、3日目2人、4日目は15人でした。持ってきた

宿題を黙々とやる子、おしゃべりしながらの子、手ぶらで遊び目的の子と様々でしたが、家でやるよりは沢山できたようです。最終日の昼食は保護者や地域の人の協力を得て、流しそうめんをしました。



盆踊り大会

8月14日(水) 250人

今年の盆踊り大会は、台風の接近で上宮津小学校の体育館に会場を変更して行いました。午後からやぐらを立て、ゲームや放送の設備、模擬店等の準備を行いました。大会は7時から実行委員長の挨拶で始め、太鼓の音頭に合わせて『上宮津音頭』や『宮津節』を踊りました。周囲のゲームコーナーや飲食物の模擬店には多くの子どもたちで賑わっていました。最後は抽選会のお楽しみがありました。

敬老会

9月15日(日) 122人

75歳以上の皆さんを招いて行いました。今年度から鳥が尾地区が独自に集会所で開催されることになり、2か所での開催となりました。上宮津小学校では75歳以上の招待者約200人のうち出席者は81人でした。めでたく米寿を迎えられた8人がお祝いの記念品を受けられました。昼食は皆さんで午後からは余興があり、カラオケ、琴や三味線の演奏、詩吟、寸劇など鑑賞していただき楽しいひと時を過ごされました。





上宮津の体育行事に合わせて年2回行っています。1回目は6月の上宮津地区駅伝と2回目は秋の運動会の前段に行っています。閉校以降人の出入りが少ないことで草が伸び放題となり、手が付けられない状態でしたが、刈払機を使って校舎や、校庭の周囲を美しくしてくださいました。また体育館やグラウンドは常々利用しているスポーツ団体さんが参加してください地域の方々と一緒になって美しくしていただきました。

旧小学校校地清掃
9月29日(日) 150人



昨日の雨が朝まで残っていたので実施を危ぶみましたが、天候に回復の兆しが見られるので、開始時間を1時間ずらして決行しました。自治連合会による前日の準備と体育協会の皆様の準備と運営により1時間の遅れを見事に克服して全プログラムを実施できました。

結果は
総合優勝 今福地区
第2位 小田地区
第3位 喜多地区
天神地区

上宮津地区運動会
10月6日(日) 300名



今年の農業文化祭は好天に恵まれ、予定していました行事が予定通りに実施できました。旧小学校で初めての試みとしてミュージアムが開催されました。

農業文化祭
11月9日(土) 10日(日) 300名

しめ縄作り講習会
12月7日(土) 16名

「自分で作ったオリジナルなしめ縄でお正月を迎えよう」と取り組みました。今回は毎年教えてくださっている先生がお休みでしたので、参加者同士が助け合い



ながら作り上げました。また、近年は女性の参加が増えてきましたので、これまでの形にこだわらない比較的簡単に作れるリース風しめ縄の材料を用意しました。洋風のドアの玄関にも合

い、部屋の装飾品としてもオシャレで可愛いリース風しめ縄が最近人気があります。縄をなう難しさが少ない上に様々なデザインの作品が作れます。今年の年末は是非来て、見て、作ってください。



新春お楽しみ会
令和2年1月11日(土) 38名

社協上宮津支会、民生児童委員、老人会、公民館活動推進委員、青少年体験活動推進の皆様力を借りて地域の親子38名が楽しい時間を過ごすことができました。子どもたちは上宮津に伝わる伝統の遊びを老人会の人に教えてもらい、コマ回し、福笑い、羽根つき、すごろく、それに小学校のグラウンドでは思い切り凧揚げをするなど、思い思いに気に入った遊びに挑戦していました。お昼は自分たちで突き上げた餅をスタッフの皆さんとぜんざいやあん餅にいただきました。



人権研修会
2月18日(火) 15名



今年度の人権研修会は宮津市教育委員会指導員森島博親さまを招いて、『性的マイノリティの人権課題』と題した講演会を実施しました。マイノリティとは社会的少数者のことで、体と心が性的に一致しないために違和感を覚えている人や性同一障害の社会的弱者を意味しています。多様化する現代にあってすべての人が等しく個人として尊重される社会を実現するために意義がある学習の機会でした。